

新しき年のはじめに

まづ、それぞれの氏神様に参拝しましょう。

次に、我々民族の祖神天照大神をお祀りする

天岩戸神社へ

年末・年始の社頭神事御案内

◆ 大祓引続き、古神符守札焼納祭 12月31日 午後2時

御守護戴いた古いお札、お守は、12月31日正午までに西本宮手水舎左の「古神符守札納齋社」にご自由にお納め下さい。

◆ 元旦祭 元日 午前0時

大太鼓(長鳴り)を合図に執行いたします。大太鼓(長鳴り)皇紀2,600年奉祝調製、命名、故 興梠国光先生。

◆ 特別御祈願受付 随時、御神前にお取次いたします。

家内安全、商売繁盛、新車のお祓い、交通安全、厄年のお祓い。その他、諸々の御祈願。

後厄 平成元年 (昭和64年) へび	前厄 平成3年 ひつじ	後厄 平成5年 とり	前厄 平成7年 いのしし	後厄 平成19年 いのしし	前厄 平成21年 うし	女 厄年
本厄 平成2年 37歳 うま		本厄 平成6年 33歳 いぬ		本厄 平成20年 19歳 ねずみ		
後厄 昭和40年 へび	前厄 昭和42年 ひつじ	後厄 昭和59年 ねずみ	前厄 昭和61年 とら	後厄 平成13年 へび	前厄 平成15年 ひつじ	男 厄年
本厄 昭和41年 61歳 うま		本厄 昭和60年 42歳 うし		本厄 平成14年 25歳 うま		

天岩戸神社では、厄祓等の御祈願を行っております。厄年は、数え年で男性は二十五歳、四十二歳、六十一歳。女性は、十九歳、三十三歳、三十七歳で、男女とも一生に三回は通過する慎むべき年と昔から言い伝えられております。

また、その厄年の前年を前厄、後年を後厄といい、前厄・大厄・後厄の三年間は十分気をつけなければなりません。その大事な人生の転機を無事すごされまことをお祈りいたします。

厄年の早見表 (令和八年)

皇紀式千六百八十六年。除夜太鼓と共に、新春初詣での方々へ力餅を数量限定でふるまいます。